

2012年度第1四半期
決算説明資料

2012年8月2日
旭化成株式会社

1. 2012年度第1四半期実績

主要決算数値 P4

連結損益計算書 P5

連結貸借対照表 P6

連結キャッシュ・フロー計算書 P7

セグメント別売上高・営業利益 P8～10

2. 2012年度上期予想

2012年度上期の業績予想 P12

セグメント別売上高 P13

セグメント別営業利益 P14

3. 参考資料

特別損益 P16

セグメント別業績推移 P17～18

連結包括利益計算書 P19

セグメント別概況 P20～29

1. 2012年度第1四半期実績

主要決算数値

(億円)

	11年度		12年度		1Q実績(対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 (予想)*1	増減額	増減率
売上高*2	3,680	7,844	3,650	8,470	-30	-0.8%
営業利益	302	638	108	450	-194	-64.1%
経常利益	304	621	81	460	-222	-73.2%
四半期純利益	194	382	32	255	-162	-83.7%

*1 2012年5月時点の予想

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度第1四半期 82億円、2011年度上期 177億円)

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	59,000	56,950	60,600	62,000
為替レート (相場平均:¥/US\$)	82	80	80	80

	12/3月末	12/6月末	増減
総資産	14,106	16,557	2,451
自己資本	7,068	6,939	-129
有利子負債残高	1,841	3,995	2,153
D/Eレシオ	0.26	0.57	0.31

連結損益計算書

AsahiKASEI

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	11年度1Q	12年度1Q	増減額	増減率
売上高*1	100.0% 3,680	100.0% 3,650	-30	-0.8%
売上原価*1	72.9% 2,684	75.2% 2,744	60	2.2%
売上総利益	27.1% 996	24.8% 906	-89	-9.0%
販管費	18.8% 693	21.9% 798	105	15.1%
営業利益	8.2% 302	3.0% 108	-194	-64.1%
営業外損益	1	-27	-28	/
(内、金融収支)	(7)	(6)	(-2)	
(内、持分法投資損益)	(7)	(-5)	(-12)	
(内、為替差損)	(-12)	(-15)	(-3)	
経常損益	8.3% 304	2.2% 81	-222	-73.2%
特別損失	-18	-12	7	
税前利益	7.8% 285	1.9% 70	-216	-75.6%
法人税等	-89	-38	51	/
少数株主損益	-3	-1	2	
四半期純利益	5.3% 194	0.9% 32	-162	-83.7%

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高及び売上原価から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度第1四半期 82億円)

連結貸借対照表*1

(億円)

	12/3月末	12/6月末	増減		12/3月末	12/6月末	増減
流動資産	7,218	7,778	560	負債	6,913	9,502	2,590
現金及び預金	1,029	1,113	84	流動負債	4,496	6,832	2,336
受取手形及び売掛金	2,661	2,701	41	固定負債	2,417	2,670	253
棚卸資産	2,792	3,045	253	純資産	7,193	7,054	-139
その他	736	918	182	株主資本	6,968	6,932	-36
固定資産	6,888	8,779	1,891	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,161	4,332	171	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	452	2,191	1,739	利益剰余金	5,164	5,128	-36
投資その他の資産	2,275	2,255	-20	自己株式	-24	-24	-0
				その他の包括利益累計額	100	8	-93
				少数株主持分	124	115	-10
資産合計	14,106	16,557	2,451	負債純資産合計	14,106	16,557	2,451

*1 ZOLL Medical社等の新規連結に伴う連結貸借対照表への影響額についてはP.29を参照

連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	11年度1Q	12年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	129	47
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-188	-1,970
フリー・キャッシュフロー③(①+②)	-59	-1,923
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-263	2,061
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	11	-53
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-311	85

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,344	964
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	15	1
関係会社の報告期間変更に伴う増減額⑨	5	-53
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	1,054	996

セグメント別売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高*1			営業利益		
	11年度1Q	12年度1Q	増減	11年度1Q	12年度1Q	増減
ケミカル	1,779	1,611	-168	194	43	-151
住宅	792	863	71	36	36	0
医薬・医療	294	324	30	26	47	22
繊維	277	263	-15	14	6	-9
エレクトロニクス	398	340	-58	48	-4	-52
建材	101	115	15	2	5	3
クリティカルケア*2	-	91	91	-	-5	-5
その他	40	44	4	4	8	4
消去又は全社	-	-	-	-22	-29	-7
合 計	3,680	3,650	-30	302	108	-194

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額:2011年度第1四半期 82億円)

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別売上高・営業利益増減要因(1) **AsahiKASEI**

(億円)

		11年度1Q	12年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高 ^{*1}	1,779	1,611	-168	-115	-53	-7	-	-
	営業利益	194	43	-151	-20			-	-77
住宅	売上高	792	863	71	137	-14	-	-52	-
	営業利益	36	36	0	48			-	-34
医薬・医療	売上高	294	324	30	41	-11	-4	0	-
	営業利益	26	47	22	37			-	-5
繊維	売上高	277	263	-15	-10	-5	-3	-	-
	営業利益	14	6	-9	-3			-	-1
エレクトロニクス	売上高	398	340	-58	-30	-28	-2	-	-
	営業損益	48	-4	-52	-20			-	-3

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度第1四半期82億円)

セグメント別売上高・営業利益増減要因(2) **AsahiKASEI**

(億円)

		11年度1Q	12年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
建材	売上高	101	115	15	14	1	-	-	-
	営業利益	2	5	3	3			-	-
クリティカルケア ^{*1}	売上高	-	91	91	-	-	-	91	-
	営業損失	-	-5	-5	-			-	-5
その他	売上高	40	44	4	4	-	-	-	-
	営業利益	4	8	4	4			-	0
消去又は全社	営業損失	-22	-29	-7	-	-	-	-	-7
合計	売上高 ^{*2}	3,680	3,650	-30	41	-110	-16	39	-
	営業利益	302	108	-194	49			-	-132

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額：2011年度第1四半期 82億円)

2. 2012年度上期予想

2012年度上期の業績予想

(億円)

	11年度			12年度上期予想			増減 b-a	12年度上期 当初予想*1 c	増減 b-c
	上期 a	下期	計	1Q	2Q 予想	計 b			
売上高*2	7,844	7,888	15,732	3,650	4,290	7,940	96	8,470	-530
営業利益	638	405	1,043	108	247	355	-283	450	-95
経常利益	621	454	1,076	81	244	325	-296	460	-135
当期純利益	382	176	558	32	153	185	-197	255	-70

*1 2012年5月時点の予想

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度上期 177億円、2011年度下期 220億円)

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	56,950	52,900	54,925	60,600	49,000	54,800	-2,150	62,000	-7,200
為替レート (相場平均:¥/US\$)	80	78	79	80	77	79	-1	80	-1

	11年度	12年度上期 (予定)
一株当たり配当金	14円	7円

セグメント別売上高*1

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度			増減 b-a	12/上 当初予想*2 c	増減 b-c	(ご参考) 12/上 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b				
ケミカル	1,779	1,822	3,601	1,611	1,729	3,340	-261	3,850	-510	119
住宅	792	1,208	2,000	863	1,267	2,130	130	2,130	-	404
医薬・医療	294	306	600	324	326	650	50	620	30	3
繊維	277	284	561	263	277	540	-21	550	-10	15
エレクトロニクス	398	378	775	340	350	690	-85	740	-50	11
建材	101	122	222	115	145	260	38	260	-	29
クリティカルケア*3	-	-	-	91	139	230	230	230	-	48
その他	40	45	85	44	56	100	15	90	10	12
合計	3,680	4,165	7,844	3,650	4,290	7,940	96	8,470	-530	640

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度第1四半期 82億円、2011年度第2四半期 96億円)

*2 2012年5月時点の予想

*3 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度			増減 b-a	12/上 当初予想*1 c	増減 b-c	(ご参考) 12/上 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b				
ケミカル	194	147	341	43	102	145	-196	220	-75	59
住宅	36	142	179	36	144	180	1	180	-	107
医薬・医療	26	30	56	47	13	60	4	45	15	-35
繊維	14	7	21	6	9	15	-6	20	-5	3
エレクトロニクス	48	22	70	-4	14	10	-60	35	-25	17
建材	2	5	8	5	10	15	7	15	-	5
クリティカルケア*2	-	-	-	-5	-10	-15	-15	-15	-	-5
その他	4	8	12	8	2	10	-2	10	-	-6
消去又は全社	-22	-27	-50	-29	-36	-65	-15	-60	-5	-6
合計	302	335	638	108	247	355	-283	450	-95	138

*1 2012年5月時点の予想

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

3. 参考資料

特別損益

(億円)

	11年度1Q	12年度1Q	増減
固定資産売却益	-	0	0
特別利益	-	0	0
投資有価証券評価損	0	0	-0
固定資産処分損	5	11	6
減損損失	0	0	-0
災害による損失	6	-	-6
事業構造改善費用	6	0	-6
特別損失	18	12	-6
特別損益	-18	-12	7

セグメント別売上高*1推移

AsahiKASEI

(億円)

	10年度				11年度				12年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	1,650	1,804	1,737	1,808	1,779	1,822	1,656	1,545	1,611	1,729
住宅	645	1,090	905	1,452	792	1,208	1,090	1,430	863	1,267
医薬・医療	287	290	305	281	294	306	307	288	324	326
繊維	265	281	271	271	277	284	272	275	263	277
エレクトロニクス	409	422	384	367	398	378	356	329	340	350
建材	110	124	137	103	101	122	128	111	115	145
クリティカルケア*2	-	-	-	-	-	-	-	-	91	139
その他	35	39	37	49	40	45	44	57	44	56
合 計	3,401	4,051	3,777	4,330	3,680	4,165	3,853	4,035	3,650	4,290

控除したナフサ転売取引額

134	62	162	66	82	96	164	56
-----	----	-----	----	----	----	-----	----

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	10年度				11年度				12年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	153	220	166	105	194	147	92	12	43	102
住宅	-9	110	79	185	36	142	109	175	36	144
医薬・医療	33	8	35	-6	26	30	37	-6	47	13
繊維	12	11	13	6	14	7	5	5	6	9
エレクトロニクス	52	55	32	4	48	22	-5	-2	-4	14
建材	3	8	13	-3	2	5	9	1	5	10
クリティカルケア ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-5	-10
その他	3	5	2	7	4	8	9	9	8	2
消去又は全社	-20	-10	-28	-14	-22	-27	-25	-23	-29	-36
合 計	228	407	310	284	302	335	233	172	108	247

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	11年度1Q	12年度1Q	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	197	32	-164
その他有価証券評価差額金	32	-31	-62
繰延ヘッジ損益	1	14	13
為替換算調整勘定	28	-117	-145
持分法適用会社に対する持分相当額	6	-15	-22
その他の包括利益合計②	67	-149	-216
四半期包括利益(①+②)	264	-117	-381

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	261	-114	-375
少数株主に係る四半期包括利益	3	-2	-5

<概況>

以下の状況により、前年同期比減収、減益となった。

・汎用系事業

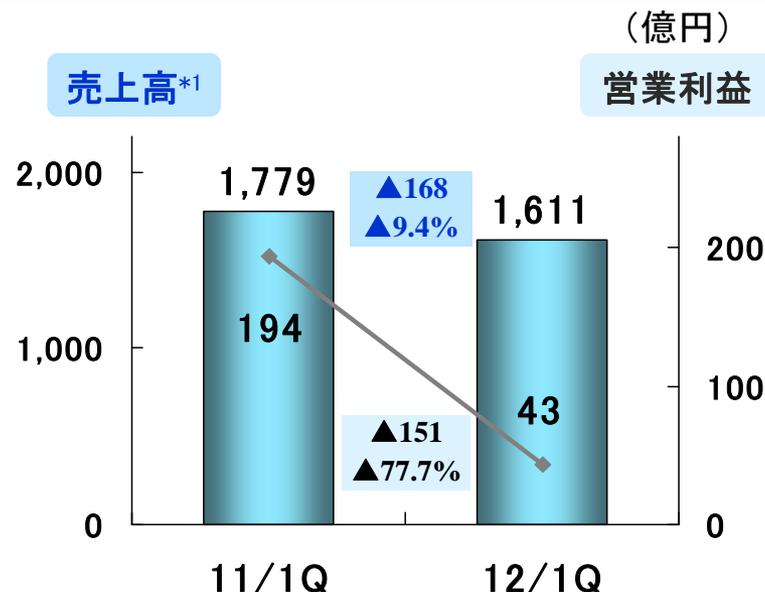
モノマー系事業は、プラントの定期修理の影響に加え、中国の景気減速によりアクリロニトリルやアジピン酸などの海外向け販売量が落ち込み、交易条件も悪化した。一方で、ポリマー系事業は、自動車向けエンジニアリング樹脂やタイヤ向け合成ゴムの販売が好調に推移した。

・高付加価値系事業

国内需要が堅調であったコーティング事業に加え、「サランラップTM」などの消費材事業や添加剤事業が堅調に推移した。

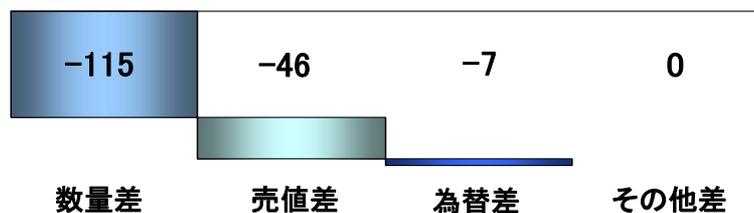
<トピックス>

- ・「サランラップTM」新工場が竣工。(5月)
- ・韓国京畿道坡州(パジュ)市における大型下水MBR処理施設に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザTM」が採用、本格運転を開始。(6月)

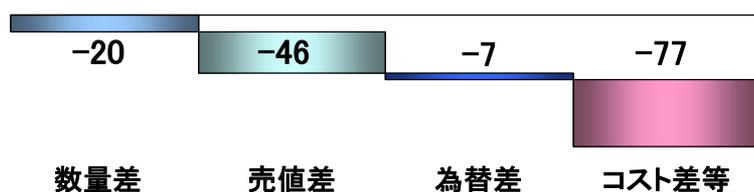


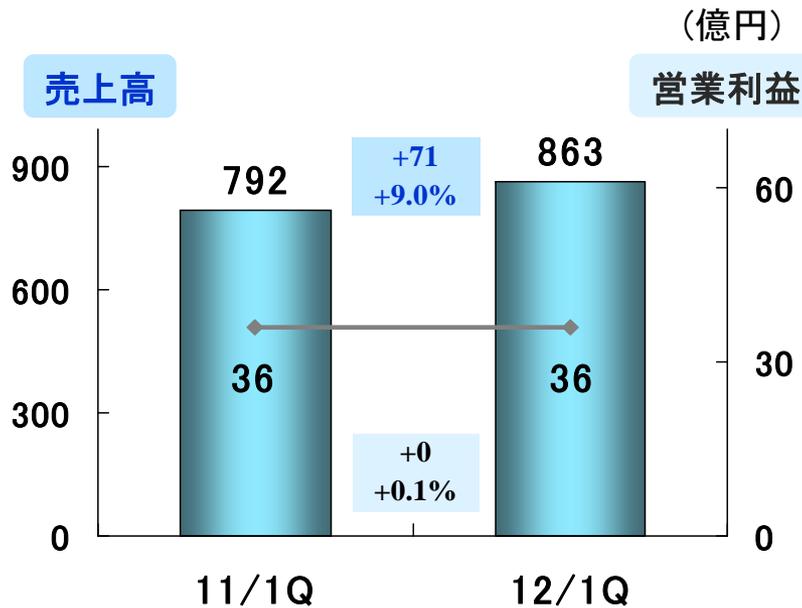
*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額: 2011年第1四半期 82億円)

売上高増減分析



営業利益増減分析





事業別増減分析

	11年1Q		12年1Q		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
建築請負	510	/	建築請負部門 (旭化成ホームズ)	614	19
分譲	81		不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	144	18
住宅周辺等	200		リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	98	
合計	792		36	その他住宅周辺事業等	
合計	792	36	合計	863	36

※ 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。
従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

<概況>

- ・建築請負事業において、戸建住宅「ヘーベルハウスTM」や集合住宅「ヘーベルメゾンTM」の引渡戸数が増加した。また、不動産事業における分譲マンションの引渡戸数は減少したものの、リフォーム事業が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年同期並となった。
- ・建築請負事業の受注高は、政府の住宅取得促進施策などを背景に、順調に受注を伸ばし、前年同期比6.6%の増となった。

<トピックス>

- ・これまで蓄積してきた家族の住まい方に関する知見を集約し、エネルギーを世帯間でシェアする二世帯住宅「ヘーベルハウスTM & NiCO(アンド ニコ)」を発売。(4月)
- ・災害発生後の火災への備えを強化し、エネルギー自立供給を可能とする新たな設備を装備した「ヘーベルハウスTM そなえのいえ」を発売。(4月)
- ・V2H(ビークルトウホーム)システム*1とHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)機器*2を戸建住宅「ヘーベルハウスTM」に導入。(7月)

*1 電気自動車(EV)に搭載される大容量蓄電池に貯めた電力を住まいの系統電力に戻して使用できるシステム。

*2 家庭内のエネルギー消費状態を画面で確認できる機器。

住宅／売上高*1、受注高の状況

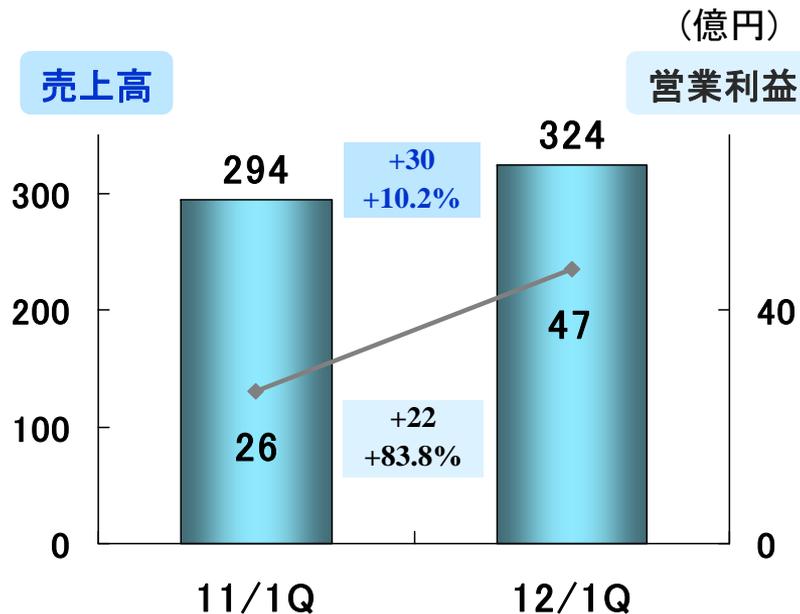
(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	1Q	946 (5.9%)	510 (25.0%)	81 (77.9%)	7	193 (3.5%)	792 (22.8%)	4,031
	2Q	948 (2.5%)	949 (12.1%)	37 (▲22.6%)	8	213 (13.0%)	1,208 (10.8%)	4,030
	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)	465 (14.2%)		2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)	887 (11.8%)		4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負 部門売上高	不動産 部門売上高				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	1Q	1,009 (6.6%)	614	24	114	5	144	98	7	863 (9.0%)	4,331
	2Q予	991 (4.5%)	998	22	117	6	145	115	9	1,267 (4.9%)	4,343
	上予*2	2,000 (5.6%)	1,612	46	231	11	289	213	16	2,130 (6.5%)	

*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

*2 2012年5月時点の予想



<概況>

医薬事業は、薬価改定の影響を受けたものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリンTM」や昨年11月に上市した骨粗鬆症治療剤「テリボンTM」の販売が好調に推移した。また、医療事業は、円高の影響を受けたものの、ポリスルホン膜人工腎臓「APSTM」などの販売量が増加し、セグメント全体で前年同期比増収、増益となった。

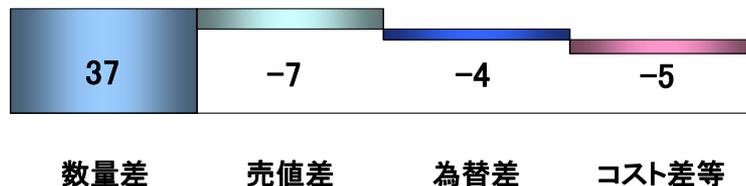
<トピックス>

- ・透析事業における戦略的提携関係を一層強化するため、ネクステージ メディカル社に出資。(同社への長期貸付金元利金額を同社株式に転換し取得)(5月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



(億円)

		11年度		12年度
		1Q	上期	1Q
医薬系	国内医薬	139	277	171
	その他	12	32	13
	計	151	309	184
医療系*1		143	290	140
医薬・医療 計		294	600	324

*1 旭化成メディカル及びその関係会社の合計

〈主要医薬品の国内売上高〉

(億円)

	11年度		12年度
	1Q	上期	1Q
テリボン TM	-	-	33
フリバス TM	35	69	36
エルシトニン TM	32	67	27
リコモジュリン TM	15	34	20
ブレディニン TM	16	32	16

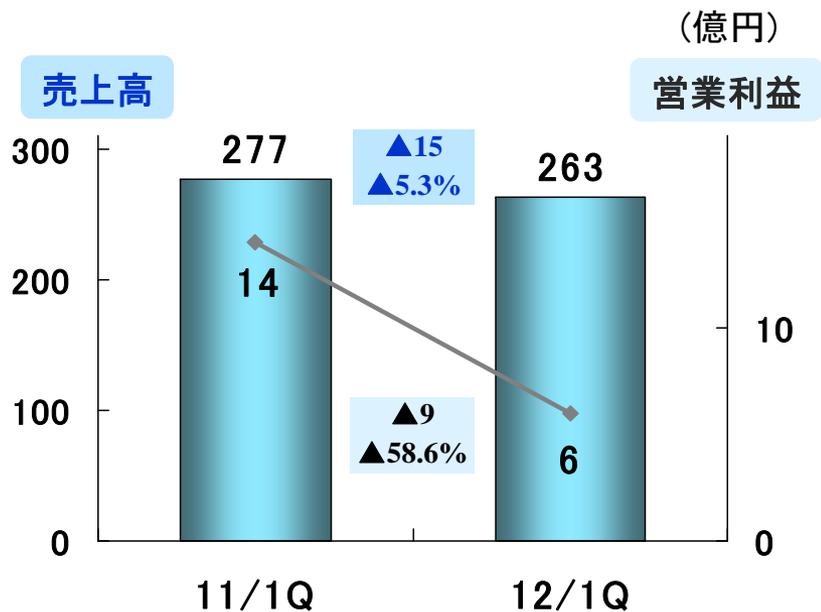
		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
		AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
HC-58注 (エルカトニン)		適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社		
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内 血液凝固症)を伴う 敗血症	自社	
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

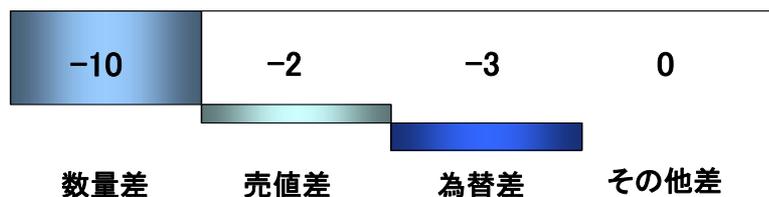
成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

<概況>

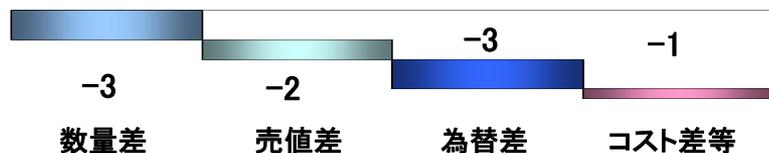
再生セルロース繊維「ベンベルグ™」やエアバッグなどに用いられるナイロン66繊維「レオナ™」は、中国などアジア向けを中心に堅調に推移したものの、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の販売量の減少などにより、前年同期比減収、減益となった。

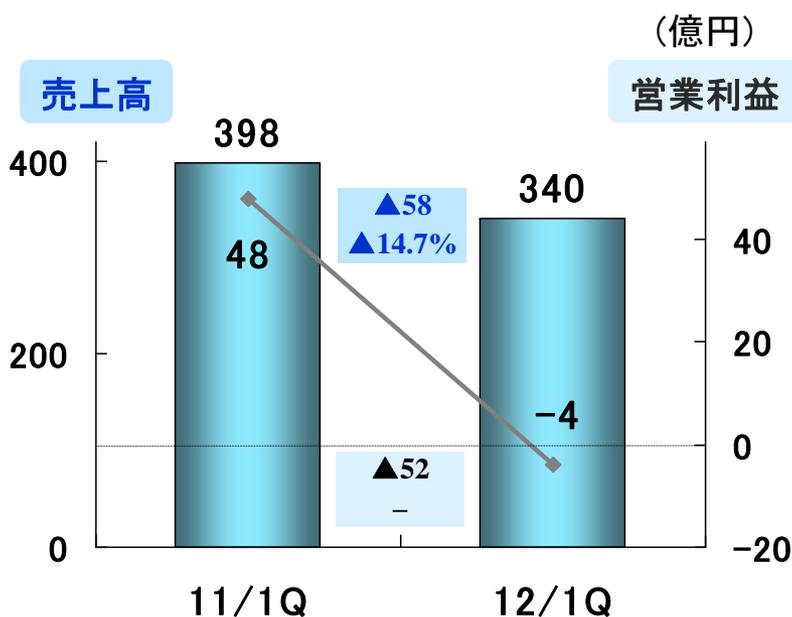


売上高増減分析



営業利益増減分析

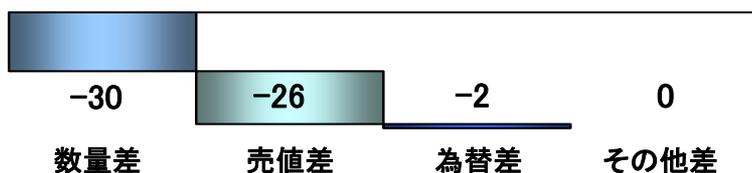




<概況>

電子部品系事業は、スマートフォン向けミクストシグナルLSIの販売量が増加したものの、全体としてはエレクトロニクス業界の市場環境悪化による影響を大きく受けた。電子材料系事業では、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」などの販売量は前四半期と比べ回復基調にあったものの、前年同期を上回る水準には至らず、また各製品で販売価格下落の影響を受け、セグメント全体で前年同期比減収、減益となった。

売上高増減分析



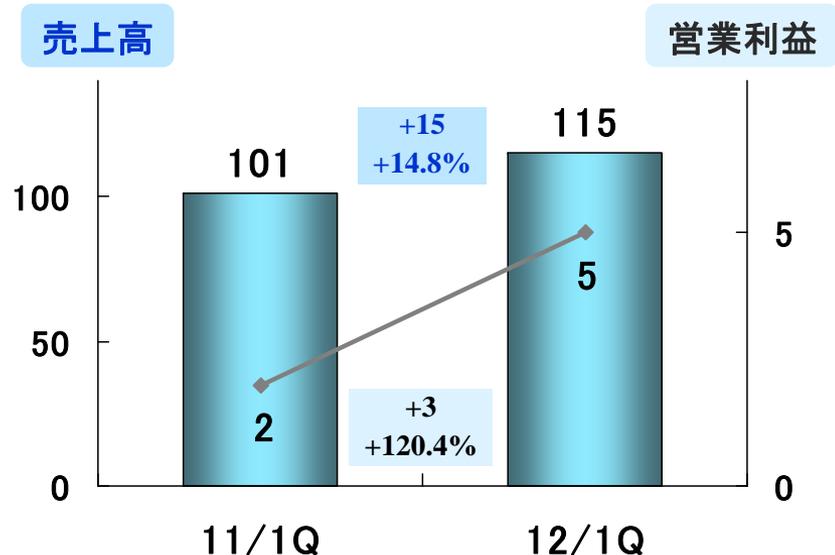
営業利益増減分析



<トピックス>

- ・中国江蘇省常熟市での感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」の工場建設を発表。(5月、13年9月稼働開始予定)
- ・「電子コンパスの自動調整技術」に関わる特許が、全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞。(6月)
- ・世界最小クラスのパッケージサイズを実現した携帯機器向け3軸電子コンパス新製品発売。(7月)

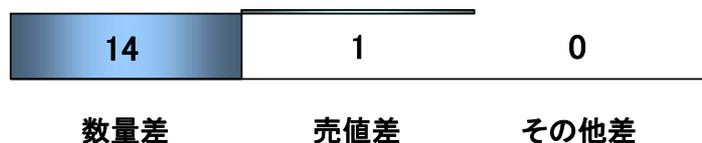
(億円)



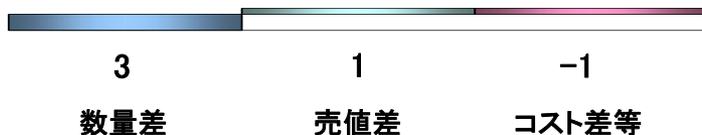
<概況>

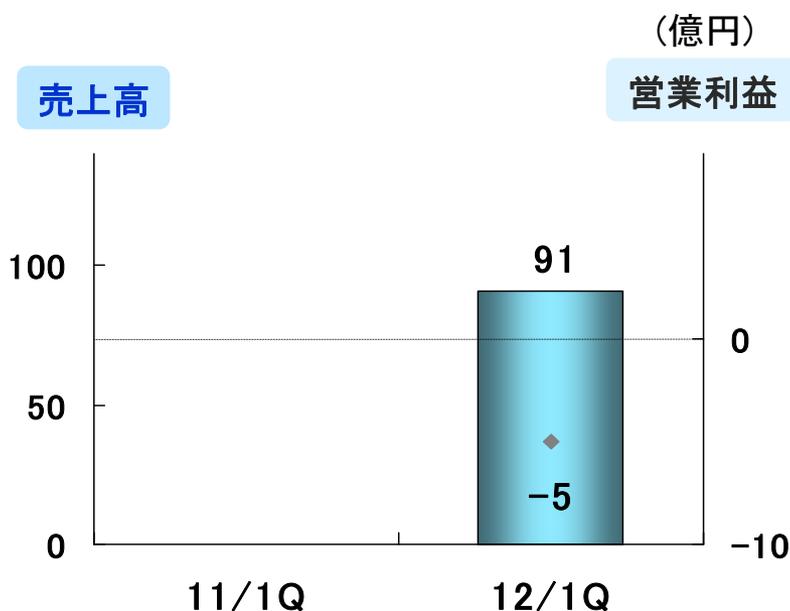
住建事業は、軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の販売が好調に推移していることに加え、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」や基礎事業における販売量も増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

売上高増減分析



営業利益増減分析





<概況>

海外においては着用式除細動器「LifeVest (ライフベスト)™」などの業績が順調に拡大したが、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産等の償却の影響を受け、営業損失となった。

<参考: ZOLL Medical社等の新規連結に伴う影響額>

(1) 連結貸借対照表への影響額

- 総資産 : 2,159億円の増加
- のれん : 1,129億円の増加
- 無形固定資産 : 651億円の増加

(2) のれん償却額、無形固定資産等償却額等

(億円)

	上期		下期	2012年度 予想
	1Q			
のれん償却額	9	23	28	50
無形固定資産償却額等	15	32	27	58
合計	24	54	54	109

業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。